

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		一般・退職被保険者等療養給付事業		事業コード	1670
担当課等	所属名	市民部 健康保険課		担当係名	
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	柳田 達郎	電話番号

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード 2	関連予算 費目名	国民健康保険費特別会計 2款01項01目 一般被保険者療養給付費(001-01) 国民健康保険費特別会計 02款01項02目 退職被保険者等療養給付費(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 28年度～)					
事務事業の概要	国保加入者が保険医療機関又は保険薬局等で受診した診療報酬(医療費)について、保険者負担分の支払を行う。					
根拠法令等	国民健康保険法第45条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
国民健康保険法の規定に基づき、昭和29年2月から盛岡市として国民健康保険事業を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
高度医療技術の発達や医療を受ける対象者の増加などにより、医療費も増加の一途をたどってきた。今後の医療制度改革の動向や予防医療の重点化などにより落ち着く要素もあるものの、長引く景気の低迷・雇用不安による国保加入者の増加や流行性疾患などにより医療費の状況は予測が困難な要素が多く予断を許さないところである。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	岩手県国民健康保険団体連合会	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 診療報酬請求件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①国保加入者が受診した当該医療機関等からレセプト送付により診療報酬が請求される。 ②国保連及び市保険者のレセプト審査に基き保険者負担分の支払を行う。 なお、診療報酬請求及び支払事務は全て岩手県国民健康保険団体連合会を通じて行われている。 ③市は資格審査により過誤返戻事務を国保連に対して行う。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  22年度と同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 診療報酬請求額(一般国保被保険者分)	単位	千円
				B. 診療報酬請求額(退職国保被保険者分)	単位	千円
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	被保険者が医療機関等で一部負担金のみを支払うことで診療を受けることができ、受診時の負担が軽減される。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 診療報酬給付額(合計) 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	千円
				B. 診療報酬請求件数1件当たりの保険者負担額 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	円
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に運営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	保険者負担額(単位:千円) 1人当たり療養諸費費用額(単位:円) 現年度収納率(単位:%) 実質単年度収支額(単位:千円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	診療報酬請求件数	件	1,115,350	1,042,609	1,151,626	1,127,825	1,128,000	1,128,000	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	診療報酬請求額(一般国保被保険者分)	千円	13,460,932	13,171,385	14,574,336	14,519,064	14,721,680	14,721,680	年度
活動 指標B	診療報酬請求額(退職国保被保険者分)	千円	1,553,813	1,005,996	1,149,498	1,053,554	1,123,216	1,123,216	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	診療報酬給付額(合計)	千円	15,014,745	14,177,381	15,723,834	15,572,618	15,844,896	15,844,896	年度
成果 指標B	診療報酬請求件数1件当たりの保険者負担額	円	13,462	13,598	13,654	13,807	14,047	14,047	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	15,014,745	14,177,381	15,723,834	14,441,006	15,844,896	15,844,896	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	15,014,745	14,177,381	15,723,834	14,441,006	15,844,896	15,844,896	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	15,014,745	14,177,381	15,723,834	14,441,006	15,844,896	15,844,896	*****
	延べ業務時間数	時間	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	15,024,745	14,187,381	15,733,834	14,451,006	15,854,896	15,854,896	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 被保険者が医療機関等での受診時に一部負担金のみの支払いで医療を受けることができ、負担が軽減されるとともに受診しやすいことにより病気の初期に医療を受けることで早期治療及び健康維持につながり、医療費の抑制効果が見込まれる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 診療報酬請求があったものについて支払いをするという性質の事業であるため。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 法定事務であり廃止・休止は不可。また、仮にその場合、被保険者の医療機関等での窓口での負担金額が多くなり、病気が重症化する恐れがある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 法定事務として、医療機関等から診療報酬請求があったものについては、必ず支払わなければならないため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 診療報酬請求、医療機関等への支払事務は岩手県国民健康保険団体連合会に委託しており、資格喪失後受診等の過誤返戻事務も必要最低限なものである。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 年齢等による一定の自己負担額など、法の規定に基づいているため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 年齢等による一定の自己負担額など、法の規定に基づいているため。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 特になし ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特になし
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 保険者として、被保険者に対し適正支給に努めた。資格喪失後に国保の保険証を誤って使用した場合の過誤調整事務が非常に多く、この対策が必要となっている。国では、一元的な保険証(社会保障カード)を検討しており、早急に進めていただきたい。このことで、過誤調整事務が激減できるなどのメリットが考えられ、全国の市町村国保の件数圧縮に貢献すると考えられる。また、医療費の適正化のため、ジェネリック医薬品の普及にも努める必要がある。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了   <input type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止                      ↓                      時期: 年度から                 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> 方向付けの理由と改革改善の内容		<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ 時期: 年度から	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ 時期: 年度から	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			